

# 101-30

## 問題文

ドパミンD<sub>2</sub>受容体の部分刺激薬で、統合失調症の陽性症状と陰性症状を改善するのはどれか。1つ選べ。

1. プロモクリプチン
2. スピペロン
3. ハロペリドール
4. スルピリド
5. アリピプラゾール

---

## 解答

5

## 解説

選択肢 1 ですが

プロモクリプチンは、麦角アルカロイドの一種です。ドパミン受容体「刺激」薬です。パーキンソン病の治療薬として使用されます。統合失調症の薬では、ありません。よって、選択肢 1 は誤りです。

選択肢 2,3 ですが

スピペロン及び〇〇ペリドールは、D<sub>2</sub>受容体遮断薬です。統合失調症の治療などに用いられることがあります。部分刺激薬では、ありません。よって、選択肢 2,3 は誤りです。

選択肢 4 ですが

スルピリドは、D<sub>2</sub>遮断薬です。統合失調症だけでなく、抗うつ薬や消化性潰瘍治療薬など多くの適用がある薬です。部分刺激薬では、ありません。よって、選択肢 4 は誤りです。

選択肢 5 は、正しい選択肢です。

以上より、正解は 5 です。